

新型インフルエンザ対策

正しい知識を身につけ、
落ち着いて対応することが大事です。



新型インフルエンザに関する情報

浦安市ホームページ：浦安市新型インフルエンザ対処行動計画

浦安市ホームページ：浦安市新型インフルエンザ予防マニュアル(市民用)

千葉県市川健康福祉センターホームページ

<http://www.pref.chiba.lg.jp/hoken/jo/ichikawa/index.htm>

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/>



浦安市 健康増進課(健康センター内)

TEL.047-381-9051

FAX.047-381-9083

新型インフルエンザとは

新型インフルエンザとは、動物・特に鳥類のインフルエンザウイルスが人に感染し、人の体内で増えることができるように変化し、人から人へ感染できるようになったもので、このウイルスが感染して起こる病気が新型インフルエンザです。

新型インフルエンザがいつ発生するか、予測することが難しいです。

新型インフルエンザの症状

新型インフルエンザの症状は現在のところ予測することが困難ですが、高病原性鳥インフルエンザが変異することが懸念されており、高病原性鳥インフルエンザが人に感染した場合の症状としては発熱、咳、下痢等。重症者においては、結膜炎、呼吸器症状や多臓器不全に至る重症なものまでみられます。

新型インフルエンザが発生した場合

新型インフルエンザが流行した際には、全人口の約25%の3200万人が罹患し、医療機関を受診する患者数は最大で2500万人になると想定されています。また、過去に流行したアジア・インフルエンザやスペイン・インフルエンザのデータに基づき推計すると、入院患者は53万人～200万人、死亡者は17万人～64万人となる。これらのことから浦安市においては、おおよそ4万人が感染すると推計されます。

<被害の想定>

	全国	浦安市に置き換えると
人口	1億2700万人	16万人
感染者想定数	3200万人	4万人
死者数	17～64万	210～800人

*この試算は過去の流行状況に基づいて試算されたものです。
ワクチンや抗ウイルス薬を使用しない状況、現在の衛生状況等について考慮されておりません。

大流行時
(パンデミック)
になると・・・

短期間で患者が多数発生。
医療関係者、ライフライン従事者等感染して社会機能が低下する。
流通がストップして日常生活に支障がでる

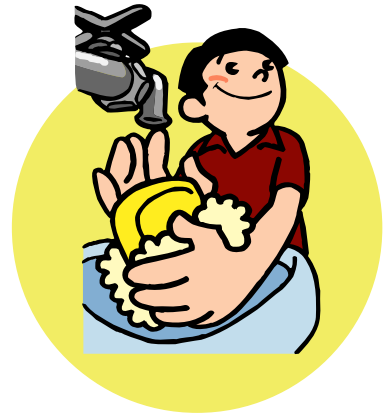


新型インフルエンザ発生時の対応策

浦安市では、県や市川健康福祉センターと連携を取り、市長を本部長とし医師会、歯科医師会、薬剤師会の会長、市内病院長、各部・局長を構成員とする「浦安市新型インフルエンザ対策本部」を設置して、「新型インフルエンザ対処行動計画」に沿って全職員が市民の安全・安心に努めています。

インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染（飛沫到達のめやすは1～2m）とウイルスが付着した手などを介しての接触感染等です。

外から戻った際は手洗い
うがいの徹底
花粉用などのマスクの使用
できるだけ外出しない



手首・手のひら・手の甲・指の間をしっかりと洗います。
(石けんはウイルスのタンパク質を破壊すると言われています。)



咳エチケット



咳やくしゃみが出る時は、マスクをしましょう。
咳やくしゃみをする時は、ティッシュペーパーなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。

マスク使用の注意

日常生活では不織布^{ふしょくふ}(花粉用など)マスクを推奨。
(ガーゼマスクは咳、くしゃみを遮断する効果が低い)
鼻と口を確実に覆う。
マスクの表面は触れずに、外した後は手洗いをする。
原則、使い捨てとする。



新型インフルエンザが 発生する前に 準備しておきましょう

平常時からの対応が大切です。新型インフルエンザ大流行(パンデミック)は2ヶ月くらい続くと予想されています。

家庭内において、慌てないためにも事前の準備や大流行(パンデミック)になったときの対応を相談しておきましょう。

～用意したい備蓄品～ (例)

- 体温計(予備も)
- マスク(市販の花粉用など)
- ビニール袋(使用済みのティッシュやマスク等を密閉して捨てる)
- 使い捨て手袋
- アルコール消毒液(次亜塩素酸ナトリウムなども効果あり)
- 冷却剤(氷枕等、頭や腋下の冷却用)
- 食料品(米・麺類・シリアル・缶詰・菓子・インスタント食品・冷凍食品等)
- 飲料水・スポーツ飲料
- ティッシュペーパー・トイレトペーパー
- 洗剤・石けん
- 常備薬
- その他、懐中電灯等災害時使用できる物を準備する

食料品の備蓄については、食品の消費期限が迫ったら普段の食事やおやつに使って、新たに買い足すなどの工夫が必要です。

赤ちゃんがいる方は、紙おむつ・ミルク・市販の離乳食等、在宅療養している方は、必要物品等準備してなるべく外出しなくても済むようにしましょう。

新型インフルエンザの発生が海外で確認された場合は、健康センター内に「**発熱相談センター**」が設置されますので、お知らせします。

また、発熱した場合はすぐに医院、病院を受診するのではなく発熱相談センターに連絡をして、指示をもらいましょう。発生状況に応じて「**発熱外来**」が設置され、新型インフルエンザ診療専用の発熱外来を受診するシステムがとられます。

救急車の使用等については、緊急時に使用するために、救急車の適正な利用にご理解とご協力をお願いします。

